

2022年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講座（学修分野）	国際比較経済、経済理論・統計、政策科学、経営学、（グローバル経営・経済）
専門科目	マクロ経済学

以下の問1、問2の両方に解答しなさい。なお、問1は解答用紙の第1ページと第2ページに解答し、問2は解答用紙の第3ページと第4ページに解答しなさい。

問1 ある経済の短期のフィリップス曲線が以下のように与えられるとする。

$$\pi_t = \pi_t^e - 0.4u_t + 3.2$$

ただし、 $\pi_t$ は $t$ 期のインフレ率（%）、 $\pi_t^e$ は $t$ 期の期待インフレ率（%）、 $u_t$ は $t$ 期の失業率（%）である。このとき、以下の各問に答えなさい。

- (1) 自然失業率を求めなさい。
- (2) 政府の政策によって $t$ 期の失業率が自然失業率よりも3%ポイント引き下げられたとき、インフレ率はどのように変化するか求めなさい。ただし、 $t-1$ 期のインフレ率は2%で、人々のインフレ期待は $\pi_t^e = \pi_{t-1}$ に従って形成されるとする。
- (3) (2)の結果より、失業率とインフレ率に関するマクロ経済政策についてどのような含意が導かれるか、説明しなさい。

問2 財市場と貨幣市場からなる閉鎖経済を考える。

$$C = C_0 + cY, \quad I = I_0 - ar, \quad G = g_0, \quad \frac{L}{P} = kY - nr, \quad \frac{M}{P} = m_0$$

ただし、 $Y$ は国民所得、 $C$ は消費、 $I$ は投資、 $r$ は実質利子率、 $G$ は政府支出、 $L$ は名目貨幣需要、 $P$ は物価水準、 $M$ は名目貨幣供給であり、 $0 < c < 1$ 、 $C_0$ 、 $I_0$ 、 $g_0$ 、 $m_0$ 、 $a$ 、 $k$ 、 $n$ は正の定数である。物価水準が1に固定されているとし、以下の各問に答えなさい。

- (1) 財市場と貨幣市場を同時に均衡させる国民所得と実質利子率を求めなさい。
- (2) 投資の利子弾力性が大きいとき、IS曲線はどのような形状になるかを説明しなさい。
- (3) 貨幣需要の利子弾力性が大きいとき、LM曲線はどのような形状になるかを説明しなさい。
- (4) 貨幣需要の利子弾力性が無限大の場合、均衡国民所得を増やすためにはどのような政策が望ましいだろうか。理由をそえて、その政策を具体的に説明しなさい。

以上